

平成 29 年 第 12 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 29 年 12 月 19 日 開会

平成 29 年 12 月 19 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成29年 第12回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

(平成29年12月19日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第17号 教育長の一般経過報告について
- 2 報告第18号 平成29年岩見沢市議会第4回定例会について
- 3 協議 1 2 平成30年度教育委員会関係予算見積もり状況について
そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 三
委 員	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	渡 邊 律 子
委 員	杉 野 幹 夫

教 育 部 長	山 下 修
指 導 室 長	松 本 伸 彦
学 校 給 食 課 長	合 川 和 幸
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
教 育 施 設 課 長	清 水 誠 志
子ども課子育て支援係長	森 勝 哉
図 書 館 長	杉 原 理 美
緑陵高等学校事務長	川 原 卓 也
事務局学校教育課総務係長	石 川 貴 規
事務局学校教育課総務係	浦 下 真 実

午後 2 時 0 0 分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から、平成 29 年第 12 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、秋山委員さんをお願いいたします。

初めに、日程番号 1、報告第 17 号 教育長の一般経過報告について 私から説明いたします。

1 1 月 15 日から記載されております。

1 6 日、第 8 回学校経営塾ということで、校長、教頭を対象にした塾に出席しております。校長の経営方針の交流、それから課題解決に向けての協議を行っています。

2 2 日、岩見沢市立南小学校新校舎落成兼開校 110 周年記念式典ということで、教育委員さん方にも出席していただいております。

2 4 日、岩見沢市 P T A 連合会教育懇談会。教育委員さん方にも出席していただいております。

2 7 日、授業づくり実践塾には、教員 32 名が参加して、授業の模擬授業に取り組んでいます。教えて考えさせる授業を当市で推奨しておりますが、これについて授業実践の学習会をしております。

1 2 月 3 日、第 1 回北海道太鼓ジュニアコンクールについて、初の全道大会として開催されております。

4 日、市議会第 4 回定例会では 6 人の議員さんから質問を受けております。

以上、私からの一般経過報告とさせていただきます。

委員の皆様からご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 それでは続きまして、日程番号 2、報告第 18 号 平成 29 年岩見沢市議会第 4 回定例会について 説明をお願いいたします。

○山下教育部長 市議会第 4 回定例会は、1 2 月 4 日から 15 日までの会期で開催されました。

教育委員会から提出しました議案は、第 10 回定例教育委員会で議決いただきました指定管理者の指定議案 5 件と、第 11 回定例教育委員会で議決いただきました認可保育所と新制度の幼稚園への委託料を増額する一般会計補正予算の合計 6 件であります。

一般質問には、10 人が登壇され、うち教育委員会に対しては、6 人から 7 件 15 項目にわたる質問がございました。

1 人目の太田議員は、放課後児童クラブの登録率などの利用状況や、高学年拡大に向けた体制、今後における学校を活用しての放課後児童クラブの実施について問われ、全児童に占める登録児童の割合が 11 月末で 41.9% であること、小学校を活用した放課後児童クラブが従来の 2 校から 4 校増加し 6 校になること、学校の活用は、登録児童数や余裕教室の状況によると答えました。

2人目の豊岡議員は、いじめ対策の取り組みについて5項目にわたって質問され、いじめ問題に迅速に対応するため、いじめアンケートや学級集団の満足度の測定のための「Q Uアンケート」などを行っていること、いじめ未然防止につなげるための道徳授業については、道教委の指定を受けた実践研究とあわせて、道外から講師を招聘し、公開授業研究を行っていること、市教委では、いじめ問題対策連絡協議会や教育支援センターなどの機関と連携・協働し問題解決を図る仕組みを構築していると答えました。

3人目の大坂議員は、教職員の長時間勤務実態と是正のための具体策について問われ、昨年度、行われた道教委の調査によれば、一月当たりの時間外勤務が80時間を超える割合が、教頭職では小・中ともに7割を超えること、市内の中学校1校が同調査対象として抽出されており、当該校の結果も同様の傾向となっていること、市教委としても年度内に策定される道教委の学校における働き方改革アクションプランに沿った対策を講じていくが、学校内の業務分担の見直しや諸会議の削減など、直ちに学校で取り組めることを学校長に指導していくと答えました。

4人目の山田議員は、新調理所の施設見学を通じた食育について問われ、低学年の3年間のうちに全ての児童が食育の一環として新調理所を見学し、その際に施設内での給食の提供もあわせて行うことについて学校と調整し、計画的に進めていくと答えました。

5人目の上田議員は、新調理所がこれまでと比べて改善されている点及び2献立4ラインの対応について問われ、床をぬらすことのないドライシステムを導入し、床の細菌の繁殖を防ぐほか、調理員や食材が交差することのないワンウェイ方式による調理により、汚染の拡散を防ぐこと、Aコース・Bコースの2種類の献立に加え、汁物と副菜はコースごとに2つのラインで調理され4つのラインでリスクを分散していること、和え物と焼きものもAコースとBコースに分けられ、さらに調理ラインもそれぞれ分けてリスクを分散していると答えました。

6人目の酒井議員は、発達障害のある子どもの保護者らが日常生活の様子や支援を受けた履歴を記載する個別支援ファイルについて、早期導入の考え方を問われ、10月から子ども子育て会議における専門部会を立ち上げ、記載内容などを検討しているところではあるが、将来に向かって希望や目標を持てるように長期間継続するものであり、配布対象やファイル作成に当たっての保護者支援のあり方も含め、しっかりと検討する必要があると答えました。

また、ヤングケアラーと呼ばれる家族の世話や介護を担う18歳未満の子どもについて、市の実態と支援について問われ、実態調査は行っていないが、学校においては、家庭訪問、欠席や遅刻などの児童・生徒の状況などから把握に努めている。実態として、病気の保護者、幼い兄弟の世話をしていることにより、欠席が多い、家庭学習ができないといった児童・生徒が存在し、各学校では子どもに寄り添った組織的な対応を行っている。学校だけでは対応し切れない複合的な要因を有する事案は、教育支援センターが学校や児童・生徒からの相談についてアドバイスするほか、必要に応じ、要保護児童対策地域協議会につな

ぎ、相談・援助活動を行っている」と答えました。

議案に係る審議が行われました総務常任委員会では、資料のとおり、1名の委員より質疑がありましたが、閉会日には、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

以上であります。

○三角教育長 ただ今、報告第18号についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 ヤングケアラーという言葉は初めて聞きましたが、実態的に深刻な状態の子どもは、何人かいるのですか。また、サポートはできているのですか。

○松本指導室長 はい。深刻度がどのくらいかは、はっきりはしないのですが、お母さんに言われて、幼い弟、妹の面倒を見るために学校を休んでいる。その部分だけクローズアップされるのですが、保護者の養育の問題や、金銭的な問題など、複合的な家庭問題の中に、そういう実態もあるという家庭が数軒あります。

○杉野委員 教職員の長時間労働にかかわって、私が光陵中学校在職中、道からの調査依頼があり、管理職、校長、教頭が中心となって、先生方の勤務状況をチェックしましたが、その中には本人にも実施してもらわないと難しいものがありました。特に、出退勤の時刻のチェックについては、先生の数も多く、難しい部分があったのです。多分、役所はタイムカードか何かでやっているのですか。ちょっとわからないのですが。その点、出退勤のチェックを、タイムカード以外でもあるかと思いますが、何かうまくできる方法があれば、先生方の勤務状況について、もう少し見えてくるかと思えます。その辺、学校から要望があったことや、道教委からそういう話があったことなどはないですか。

○山下教育部長 今、全国的にも、また、道議会でのやりとりもあるところですが、従前からのタイムカードで、真に勤務時間を把握できるかというのは、非常に疑問を持たれているところで、実際把握できないのではないかということ指摘されているところで、今どきのICT時代と相まって、その辺のことは、道教委によっても、そっちの方面での何かシステム構築ということを研究していくと伺っております。

○三角教育長 勤務時間、退勤時間を把握したとしても、家に持ち帰ってやるのなら根本的な解決にはならないですね。

ほかにごございますか。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、ご意見ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、日程番号3、協議12 平成30年度教育委員会関係予算見積もり状況について を審議いたします。

説明をお願いいたします。

○山下教育部長 平成30年度予算編成に係る教育委員会関係の予算要望の概要について、私からご説明いたします。

市の平成30年度予算編成方針は、岩見沢市を活力と笑顔あふれる元気で健康なまちに

するため、最重要課題である人口減少問題の克服に向け、平成27年度に策定した人口ビジョン・総合戦略に基づき、人口減少対策の着実な展開を図るとともに、市民の安全・安心の確保、健康経営の推進、地域経済の活性化、大型プロジェクトの推進などの主要施策を初めとして、これまで積み重ねてきた各施策のステップアップを図るということであり

ます。

資料2-4ページをごらんください。

一番下の合計欄ですが、教育委員会関係の平成30年度予算要求ベースで、事業費は76億8,900万円となっております。平成29年度の当初予算額53億2,400万円と比較しまして23億6,500万円の増となっております。事業費を確保しつつ、一般財源、市税や地方交付税といった使い道を制限されない財源が減っていくことに対処をしなければならぬわけではありますが、その一般財源の前年度との比較でも9億6,000万円増、30.4%の増という状況であります。昨日開催された庁議で、一般会計当初予算の要求ベースで40億4,000万円の収支不足の状況にあると報告されたところであります。今後、企画財政部長ヒアリング及び市長ヒアリングにおいて、厳しい査定が行われる予定であります。

以下、各課長から主要事業についてご説明いたします。

○石川学校教育課総務係長 それでは、各課より順次説明をさせていただきます。学校教育課長にかわりまして、学校教育課の予算内容につきましてご説明いたします。

説明する前に資料2-1をごらんください。

資料2は、教育委員会事務事業一覧表でございます。ここで学校教育課所管分につきまして、番号が学教1から学教19という番号が振られておりますので、このうち主なものを資料1-1の順に従ってご説明いたします。

では資料1-1にお戻りください。

それでは、学校教育課所管分の平成30年度新規・主要事業について、ご説明いたします。

初めに学教3、教育情報化推進環境整備事業でございます。4点記載されておりますが、ICTを活用した授業を促進のための教育用コンテンツの作成や、教員の情報研修等に係る経費、あるいはテレビ会議システムを活用した遠隔学習の経費、教育広報や冊子「いわみざわ市の教育」の印刷製本費などの経費でございます。総額で744万5,000円となっております。

次に学教4及び5、教育用コンピュータ整備事業でございます。教育用コンピュータ整備事業につきましては、PC教室の授業用PC、あるいは教員用のPCを5年間長期継続契約をしながらリースを行っております。小・中学校を合わせまして、6,943万9,000円となっております。小・中学校の内訳につきましては、それぞれ記載のとおりでございます。

次に学教7、学校図書館資源共同利用事業でございます。これにつきましては、市内小・中学校及び緑陵高校におきまして、学校図書館の積極的な活用を推進しながら、児童・生

徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させる目的のために係る経費でございます。平成29年度におきまして、図書館システムと学校図書館システムを統合いたしましたことから、昨年より減額になりまして128万1,000円の予算となっております。

次に学教9及び15、学校管理事業でございます。総額で4億5,071万6,000円となっております。主な事業といたしましては、学校図書館用図書の年次整備として、小学校で600万円、中学校で400万円、合計1,000万円の図書経費の配当予算。教材教具の整備や理科教材予算といたしまして、小学校1校当たり54万3,000円、中学校1校当たり61万円、昨年同様の予算を見込んでおります。学校施設整備備品ということで、小学校が840万9,000円、中学校が405万8,000円でございます。これにつきましては、机、椅子、ストーブ、芝刈り機、除雪機、ピアノなど年次計画により更新しているところでございます。

次に学教11、スクールバス運行管理事業でございます。スクールバスの更新が主なものでございまして、平成30年度につきましては、岩見沢コースを走っているバスを更新したいと考えております。このバスは現在約29万キロ以上を走行しているバスでございます。更新に係る経費、維持管理経費を含めて8,100万3,000円を計上しております。

次に学教12及び17、就学援助事業でございます。総額で5,749万円を計上しています。生活保護受給世帯及びこれに準じる就学が困難と認められる世帯の児童ないし生徒の保護者に対し、学用品費や体育実技などの補助を行います。なお、現行では入学準備に係る費用の援助として、小学校・中学校それぞれに入学する児童・生徒の保護者に対し、新小学生4万600円、新中学生4万7,400円を新入学準備金として入学後の6月に支給していますが、平成31年度入学者に対する入学準備金は、学校の入学前に支給できるようにするというので予算要望しており、小学校入学者分として77名分の312万7千円、中学校入学者分として88名分の417万2,000円、総額として729万9,000円を見込んでおります。これまでは所得の確定が5月ということで例年6月に入学準備金を支給していたところでございますが、所得の認定方法を変更することによりまして、新入学準備金を入学前に必要とされる3月に支給することができるようにし、保護者の経済的負担の軽減を図ることといたします。

学校教育課は以上でございます。

○松本指導室長 続きまして、指導室の予算内容につきましてご説明いたします。

資料1-2をごらんください。

初めに指導1、教育情報システム化推進事業の児童見守りシステム推進事業でございます。児童の登下校時の安全・安心確保のための事業で、システムの管理・運用費用、ICタグ購入費用を計上しております。

次に指導2、子どもがかがやく学校活動支援事業です。各学校が企画立案する事業を支援するとともに、学校支援ボランティアを各学校に派遣するための費用を計上しております。

す。

次に指導 3、特別支援教育推進事業でございます。今年度同様、特別支援教育支援員 25 名、学校看護師 1 名の配置を計画しております。

次に指導 4、教育指導振興事業でございます。今年度に引き続き本事業において、文部科学省指定「コミュニティ・スクール推進事業」、道教委指定「道徳教育推進校事業」の予算を計上いたします。

次に指導 5、外国語指導助手活用事業でございます。今年度同様、ALT 9 名の配置を計画しております。

次に指導 6、教育支援センター事業でございます。来年度は、スクールソーシャルワーカーを 1 名増員し、2 名体制とするとともに、新たに特別支援教育専門員を 1 名配置し、相談支援体制を強化することを計画しております。

次に指導 7、学力向上対策事業でございます。来年度は新たに中学生対象の英検学習会を実施し、英語を話せる岩見沢の子どもの育成に努めます。

最後に指導 8、教育研究所運営事業でございます。教育研究所を調査・研究、養成・研修の拠点とするべく、授業内容の改善・充実を図るため、予算の拡充を要望しております。

指導室は以上でございます。

○合川学校給食課長 学校給食課の予算内容につきましてご説明いたします。

資料 1 - 3 の中ほどからごらんください。

初めに給食 1、学校給食共同調理所運営事業でございます。この事業は、市内小・中学校 25 校に年間 190 食を基準といたしまして給食を提供するものでございます。主な内容といたしましては、共同調理所の維持管理の光熱水費として 7,389 万 1,000 円計上しております。また、学校給食で出る野菜くずや食べ残しなどの残渣を堆肥化するための生ごみ処理手数料といたしまして 312 万 5,000 円を計上したほか、共同調理所の調理等業務委託の委託料としまして 1 億 2,389 万 8,000 円を、炊飯等業務の委託料として 1,198 万 8,000 円を計上したところでございます。

次に給食 2、学校給食共同調理所整備事業でございます。こちらは、岩見沢・北村・栗沢の 3 か所の共同調理所を除却するもので、建物に固定していないコンテナや移動台などの備品の処分手数料としまして 2,000 万円、除却工事費として 1 億 2,700 万円を計上したところでございます。

最後に給食 3、学校給食共同調理所車両運行管理事業でございます。この事業は、調理所から各学校に給食を配送する車両の運行事業でございます。主な内容といたしましては、学校給食配送等業務委託料として 3,532 万 8,000 円を計上しております。

学校給食課は以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課の予算内容につきましてご説明いたします。

初めに生文ス 2、市民の学び支援事業でございます。生涯学習センターを学びの拠点と

して、子どもから高齢者まで幅広い世代へ向けた学習機会の充実を図るために、「いわみざわ市民大学」や「いわなびチャレンジスクール」、「高齢者対象講座」等の開催に係る予算として940万円を見積もっています。

次に生文ス9、岩見沢郷土科学館管理事業でございます。施設の維持管理を初め、科学、創作、天体等に関する教室の開催やいわみざわ民話を活用した事業の実施、また、郷土科学館のリニューアルに向けた基本構想・計画の策定と資料の移転・集約等に係る予算として2,249万3,000円を見積もっております。

次に生文ス10、地域文化振興事業でございます。各種文化祭の開催を初め、文化団体の活動や文化分野にかかわる全国大会出場等に対する支援、また、囲碁教室や囲碁大会の開催に係る予算として628万8,000円を見積もっております。

次に生文ス11、文化のまちづくり事業でございます。野外音楽堂や市民会館・文化センターなどを会場に、舞台や音楽などの多彩なジャンルですぐれた芸術・文化の鑑賞機会を提供するほか、音楽や美術等の分野で活動をしている市内アーティストを応援する事業等の実施に対する補助金として1,200万円を見積もっております。

次に生文ス17、健康・スポーツ振興事業でございます。市民歩け歩け大会やウォーキングマラソン大会、歩くスキー教室などの歩く健康づくり事業のほか、楽しいキッズスポーツやトップアスリートが直接指導するスポーツ教室等の開催に係る予算、また、全国大会の出場や強化指定選手に認定された子どもたちの活動を支援する予算として1,134万7,000円を見積もっております。

次に生文ス26、オリンピック・パラリンピック推進事業でございます。2020年の東京パラリンピックに向けた合宿誘致や合宿受け入れに係る予算のほか、障がい者スポーツの普及事業としてアダプテッド・スポーツを紹介・体験するイベント開催の支援に係る予算として666万7,000円を見積もっております。

最後に、社会教育施設等管理事業でございます。指定管理者制度を導入している施設の運営に係る予算として社会教育施設の委託料2億1,602万7,000円、社会体育施設の委託料2億523万7,000円、合計4億2,126万4,000円を見積もっております。

生涯学習・文化・スポーツ振興課は以上でございます。

○清水教育施設課長 続きますので、教育施設課の予算内容につきましてご説明いたします。

初めに教施1、教職員住宅管理事業でございます。教職員住宅につきましては現在60戸の維持管理、保守を初め土地の借地料など事業費として607万9,000円を計上しているところでございます。

次に教施2及び6、校舎等管理事業でございます。総額で2億1,783万8,000円を計上しております。主な内容としまして、学校施設の消防用設備、電気設備などの維持管理を初め、計画的な設備の修繕や整備のため予算を計上しておりますが、平成30年度の主な内容としまして、小学校では美園小学校の外壁の改修、中学校におきましては清

園中学校と明成中学校のトイレの洋式化などを計画しておりまして、小学校で6,771万5,000円、中学校で1億5,012万3,000円を計上しているところでございます。

次に教施3、学校プール管理事業でございます。現在、小学校7校でプールを設置しておりますが、平成30年度につきましては、今年度と同様に40日間のプールの開設を計画し、プールの監視員の賃金や、プール施設の維持管理費用として、事業費782万2,000円を計上しております。主な修繕としまして、平成30年度、北真小学校のろ過ポンプの交換修繕56万円を計上しております。

次に教施4、中央小学校校舎等改築事業でございます。平成30年度は事業費として16億5,787万4,000円を計上しております。中央小学校につきましては、平成30年度は工事の2カ年目となります。校舎・屋内体育館の2カ年目の工事費用としまして13億2,860万円、グラウンドや防球ネットの整備などグラウンドの工事として1億3,365万円、また校舎の敷地の整備に加えまして、西16丁目線の歩道拡幅を含めまして外構工事費として1億4,455万円を計上しております。

次に教施5、東小学校校舎改修事業でございます。東小学校につきましては、老朽化した校舎の大規模改修に向け、今年度設計を行ってまいりましたが、改修につきましては、平成30年度から2カ年計画としたところでございます。主な整備内容につきましては、屋根、外壁、内装、設備の全面的な改修に加えまして、躯体のコンクリート中性化や鉄筋の腐食対策、また、車椅子の児童も使用が可能なエレベーターの設置や放課後児童クラブと共同で利用できる多目的室なども整備いたしまして、工事費全体では今のところ12億9,000万円程度を見込んでおりますが、1年目の工事費として3億8,872万5,000円、そのほか事務費等を合わせまして3億8,951万8,000円を計上しているところでございます。

次に教施7～18、社会教育施設等管理事業でございます。文化施設・体育施設などの施設の整備費用としまして2,902万6,000円を計上しております。主な内容でございますが、北村環境改善センター運営事業につきましては、トイレの洋式化として281万4,000円。市民会館・文化センター管理事業としましては、市民会館の空調設備修繕として265万5,000円。栗沢文化センター運営事業としましては、栗沢文化センターの解体設計として442万4,000円。野外音楽堂管理事業としましては、防音幕の購入費として144万4,000円。東山・岡山地区スポーツ施設運営事業として、岡山スポーツフィールド多目的広場の芝などの部分的な修繕としまして756万円。鉄北地区スポーツ施設運営事業では、総合体育館防球ネットの修繕として121万4,000円。温水プール・北村プール運営事業では、温水プールの採暖室の暖房機等の修繕として169万7,000円。温水プールのコースロープの交換を計画し、購入費として214万1,000円。栗沢スポーツ公園運営事業では、栗沢球場の放送機器等の修繕として134万7,000円を計上しているところでございます。

次に教施19、栗沢文化交流施設整備事業でございます。事業費として2,851万円を計上しております。栗沢文化交流施設につきましては、平成32年10月供用開始に向け、基本設計・実施設計を2カ年で実施する計画とし、今年度契約したところでございます。平成30年度につきましては、実施設計分として2,849万円が主な事業費となっております。

教育施設課の説明は以上でございます。

○森子ども課子育て支援係長 子ども課長にかわりまして子ども課の予算内容につきましてご説明いたします。

初めに子ども1、子ども・子育て支援事業でございます。子ども・子育てプランに基づき、子育て支援に係る事業を実施いたします。子育て支援センター、親子ひろば、ショートステイなどの各事業に約2,721万円を見積もっております。

次に子ども2、ファミリー・サポート・センター事業でございます。新規事業になります。子どもを預かってほしい人と預かりたい人に会員登録をしていただき、子育て相互援助活動をコーディネートする事業であります。市内で唯一ファミリーサポート事業を行っておりますファミリー・サポートはおはおへの業務委託費のほか、事務所の設置費用を含め約1,051万円を見積もっております。

次に子ども3、児童療育事業でございます。これまで障害の早期発見・早期療育を図るため、発達支援センターの業務を社会福祉協議会に委託しておりましたが、発達支援を子育て支援の枠組みに包括し、ワンストップ体制のさらなる充実を図るため、3階のえみふるに移転し、市で直営化いたします。事業費につきましては、人件費等が減少となりまして約106万円を見積もっております。

次に子ども4、産前産後ヘルパー事業でございます。産前産後の子育て家庭の負担軽減のため、1回2時間を上限に20回、計40時間まで利用できるという制度であります。平成28年度からは、通院時の付き添いなど外出の同行に限り40時間の範囲内で1回3時間まで認めるよう要件を緩和しております。見積額につきましては、実績に基づき、昨年度から微減の621万円を見積もっております。

次に子ども6、あそびの広場運営事業でございます。であえーる岩見沢3階のあそびの広場などの運営費で振興いわみざわに指定管理委託をしております。見積額は備品購入費が微増となり約3,215万円であります。

次に子ども7、児童厚生施設運営事業でございます。市内の12児童館と栗沢の来夢21こども館の運営費であります。年次計画に基づく改修としまして、北真児童館の屋根改修のため約108万円を見積もっております。

次に子ども8、児童厚生施設建設事業でございます。新規事業になります。平成30年度からの放課後児童クラブの対象学年の拡大にあわせ、中央小学校の移転先隣接地に稲穂児童館を移転改築するものであります。放課後児童クラブの2単位80名の受け入れに対応いたします。建設期間中の放課後児童クラブにつきましては、中央小学校の余裕教室と

現在の稲穂児童館の2カ所で受け入れをする予定であります。工事請負費ほか約1億8,875万円を見積もっております。

次に子ども9、青少年対策事業でございます。青少年センターを中心とした補導活動や環境浄化モニター活動による巡回補導を行うための経費であります。

次に子ども11、留守家庭児童対策事業でございます。保護者が仕事などで昼間、家庭にいない留守家庭児童に対し、生活と遊びの場を与え、その健全育成を図るため、現在の15カ所のクラブのほか6カ所を追加し計21カ所で小学6年生までに対応した放課後児童クラブを運営いたします。また、民間の放課後児童クラブに対し、国の補助基準に基づき運営費の補助を行います。平成30年度からの対象学年の拡充に向け、必要な指導員や補助員の人件費等が増となり約1億3,524万円を見積もっております。

次に子ども12、放課後児童クラブ建設事業でございます。新規事業になります。放課後児童クラブの拡充にあわせ、鉄北児童館の登録児童を適正な規模で受け入れするため、鉄北児童館敷地内に放課後児童クラブ室を整備するものであります。工事請負費を含め5,630万円を見積もっております。

次に子ども13、保育所入所運営事業でございます。児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童のため認可保育所への入所に関する費用として約1億3,188万円を見積もっております。

次に子ども15、病児・病後児保育運営事業でございます。病児保育を市立病院院内保育園に併設する施設で、病後児保育を東保育園で実施しております。今年度の実績を見ますと、病児保育は昨年並み、病後児保育は昨年より伸びているものの稼働率が低い状態が続いております。

次に子ども17、栗沢認定こども園運営事業でございます。こちらにつきましては、昨年とほぼ同様の6,695万円を見積もっております。

次に子ども19、幼稚園入所運営事業でございます。子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園の運営費であります。平成30年度には、聖十字幼稚園、天使幼稚園、めぐみ幼稚園に加え新たに駒沢幼稚園が新制度に移行することや、運営費単価の改定により3億5,897万円を見積もっております。

最後に子ども21、幼稚園就園特例奨励事業でございます。18歳未満の子から数えて第3子目以降の幼稚園児に係る入園料や保育料を助成するものであります。市立幼稚園5園のうち、子育て支援新制度に幼稚園に移行した4園を除く1園、よいこのくに幼稚園に対する制度がこの制度の対象となっております。

子ども課は以上でございます。

○杉原図書館長 続きまして、図書館の予算内容につきましてご説明いたします。

初めに図書1、図書館活動運営事業でございます。開館から15年以上経過した市立図書館の施設機能を維持するとともに、地域の知の拠点として、資料の収集・管理と利便性の高いサービスを進めてまいりたいと考えております。主な内容でございますが、市内図

書館全館の図書資料を管理する図書館システムのリース料につきまして、今年11月に統合した学校図書館システムの分も合わせて1,112万円。そのほか市立図書館の視聴覚システム及びAV機器のリース更新に伴う費用といたしまして617万7,000円を見積もっているところでございます。

次に図書4、ブックスタート事業でございます。乳幼児期から親子で本に親しみ家族そろっての読書習慣づくりを進めるこの事業につきまして183万8,000円の予算を計上しているところでございますが、橋本育英福祉基金を財源といたしまして、赤ちゃんと保護者500組を対象にブックスタートパックを送るとともに、成長段階に応じたフォローアップ事業の充実を図ってまいりたいと考えているところでございます。

図書館は以上でございます。

○川原緑陵高等学校事務長 緑陵高等学校の予算内容につきましてご説明いたします。

初めに緑陵1、学校管理事業でございます。地域社会のニーズに応えるとともに、次代を担う人材を育成するための教育活動の推進、教育諸条件の整備、学校経営組織の適切な運営、施設設備の効率的な管理に努め、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図ることを目的とした事業でございます。総額5億5,474万1,000円を計上しております。平成29年度と比較しまして大きな変更はございません。58万9,000円の0.1%の増となっております。

次に緑陵2、教材教具整備事業でございます。質の高い教育環境を維持し、特色ある教育活動を円滑に実施するために必要な教材教具の整備を進める事業でございます。2,464万9,000円を計上しております。平成29年度と比較しまして200万円ほどの減となっておりますが、これは主に生徒が使用するパーソナルコンピューターの借り上げ料5年リースを今年度入札いたしまして、その結果金額が下がったことが影響しているところでございます。

緑陵高等学校は以上でございます。

○三角教育長 ただ今、協議12についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 教育委員の立場からすれば、この場で、これは要らないのではないかという話は絶対にはないと思いますし、意欲を持って組んだ予算要望だと思いますので、しっかりヒアリングに耐えられるように理論武装していただいて、何のために必要なのかということを理解して、思いを伝えていただきたいと思います。

全般的なこととしてはそういうことなのですが、特に、学校教育課の6番、通学区域審議会運営事業という新規事業について、内容はどのようになっていますか。

○石川学校教育課総務係長 来年、岩見沢市立学校通学区域審議会の関係で、現行の岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画が平成30年までということになっておりますので、平成31年度以降の実情を考慮しながら、今後10年間の適正配置計画の策定に向けて、来年度につきましては、通学区域審議会の開催をいたしますし、地域別協議会

とされているワークショップを開催して、地域の方々から意見を吸い上げという形のもの新たに開くという方向で予算を要求させていただいております。具体的なスケジュールとしては、5月に委嘱状を交付した後で、7月に地域別協議会を開催いたしまして、8月、9月、10月と地域別協議会から意見をいただいて、1月に教育委員会に答申してもらい、3月に教育委員会が基本方針を策定して、平成31年度に通学区域審議会地域住民説明会を経て、配置計画を決定ということで今スケジュールを考えています。

○三角教育長 ほかございせんか。

○武蔵委員 指導室の1番、児童見守りシステム推進事業について、ランニングコストはどのくらいかかりますか。

○松本指導室長 運用の部分では、ランニングコストはサポートセンターを委託することで経費がかかるのと、それからICタグが今、1年生から6年生まで小学校全学年対象なのですが、6年間使うと大体耐用年数が終わってしまうということで、新1年生の新規購入ということでもあります。

○武蔵委員 活用されているといいですね。

○松本指導室長 保護者からは大変好評をいただいております。

○武蔵委員 導入した当初は、私も見ていました。

○杉野委員 学校教育課の9番、小学校管理事業について、要求額が2,600万円ほど増えているのは、教科書改訂にかかわる指導書の整備等があつて、これだけの要求額の増となっているのか、もう少し詳しく教えていただきたいと思ひます

○石川学校教育課総務係長 小学校管理事業のみならず、小学校も中学校もですが、大きいところで、施設燃料単価の高騰により小学校1,250万円、中学校1,000万円燃料費が上がり、その影響でそれぞれ事業費が上がっているということになります。

○杉野委員 随分上がっていますね。

○石川学校教育課総務係長 指導書は120万円ほど上がっています。

○武蔵委員 学校給食の残渣の堆肥化ですが、今もやっていると思うのですが、施設が変わって残渣の状態というのも、処分の仕方が変わっていつているが、同じような体制で受けるほうは受けられるのでしょうか。

○合川学校給食課長 はい、同じような方法でやるのですが、新しい調理所では今までと違って、残渣の水気といいますか、今の調理所は、残ったものをネットみたいなもの取って簡単な水切りをした状態を出していますが、新しい調理所では、残渣も脱水機を使い水気を切って出しますので、重さを量りますと若干軽くなっていると思ひますが、引き続き堆肥化のほうを進めてまいりたいと思ひております。

○武蔵委員 水分調整が難しいですね。

○秋山委員 いや、乾いていると処理しやすいです。

○合川学校給食課長 はい。

○秋山委員 学校給食共同調理所の関係なのですが、見学させていただいたところ電気の

使用量について、試算して莫大にかかるとは思いますが、予算的には大部分を占めているのでしょうか。

○合川学校給食課長 ただ今ご説明させていただいた中の、光熱水費が相当上がっておりますが、その中でも大きなものがやはり電気でございます。特に今まで、ボイラーの蒸気を使って、例えば消毒保管ということで食缶や食器をかけていた部分の全てではないのですが、大部分が電気になっております。そういう部分で電気代は上がってきております。ただ、最大電力量をそのまま何も考えずに使用しますと電気料金のほうも上がってしまいますので、消毒保管する電気につきましても、部分的に、ある一定の区画が終わったら次の区画とリレー式で動くようにしまして、最大の電力量を抑えるような施設になっております。

○武蔵委員 今回の予算ということではないのですが、学校プールについて、40日間の稼働うち、実稼働は天候等の影響により半分くらいで、新しい学校はプールを持たないようにしているようですが、将来的にはどのように事業を考えているのでしょうか。結構な金額が毎年かかっていますね。検針もあるし。

○清水教育施設課長 現在、7校ありますが、建てかえ、改築にあわせて閉鎖していつているのが現状です。利用人数については、ほぼ横ばいではあるのですが、将来的にはそういうこととあわせて閉鎖を検討していきたいと思っておりますが、例えば市営プールですか、栗沢B&G海洋センター、北村プールへスクールバスで行っている学校もありますので、今後調整しながら検討していきたいと思っております。

○三角教育長 維持するよりはいいですね。

○渡邊委員 郷土科学館について、隣接しているバラ園にはバラが咲く時期に沢山の観光客も来るので、今後リニューアルするということでしたら、ぜひ利用者が多くなるようにしてもらいたいのと、小学校などの教育関係機関でどれだけ利用しているか稼働率、利用人数など教えてください。すばらしい郷土科学館としてリニューアルしてほしいと思います。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 本科学館のリニューアルにつきましては、来年度の秋までに構想計画を策定する予定であります。あわせて収蔵庫が非常に手狭だということで、まずはその収蔵庫を整備する前の収蔵庫となるスペースの整理を来年度に計画をしているところでして、実質リニューアルオープンを目指す時期としては、平成34年度の春にはリニューアルを考えておりまして、それまでに実施の設計・施工を順次していきたいと考えています。小学校等の利用に関しましては、具体的に学校授業としての取り組みまでは把握はしていませんが、科学館の入館者で言えば幼稚園や小学校、中学生でいえば、大体2,500人ぐらい、年間の利用があるのですが、総体で5,400人ぐらいですので、半数以上が幼稚園・小学校・中学生の利用なのかと思っております。

○三角教育長 学校教育でいうと3年生の社会科とかで利用していますか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 そうです。内容としては、昔の暮らしと今日

の暮らしです。

○三角教育長 大体、ここは見学コースに入っていると思います。

○武蔵委員 生文ス11、文化のまちづくり事業について、財源内訳がその他になっていますが、これはどこから出てくるのでしょうか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 ふるさとづくり推進基金を充当しているのですが、こちらについては企画財政部で充当するかしないか判断することになっており、平成29年度のときには、全額ふるさとづくり推進基金を充当しています。

○武蔵委員 今のところは一般財源ということですか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 そうです。

○武蔵委員 パラリンピック事前の合宿誘致について、この間はだめだったと聞いておりますが、その後の進展とか、これからの施策というのは何かあるのでしょうか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 来年度の予算につきましては、今年度ウィルチエララグビーの日本代表チームが合宿をされ、来年度につきましても、引き続き合宿を受け入れするというので、今、交渉を団体側としております。その関係にかかわる予算として、見積もってはいるのですが、ただ、海外の競技団体につきましては、今年、カナダが視察に来まして、結果、岩見沢では難しいというご判断をされたのですが、海外チームに関しては、現状のところ具体的な策というのはない状態です。手詰まりな感じではいるのですが、内閣官房のオリンピック・パラリンピック推進事務局のほうも、岩見沢市の合宿誘致の取り組みにつきまして、目をかけていただいております。例えばドイツですとか、そういう国へのアプローチについてあっせんを試みてみますかというような話はいただいているところです。

○杉野委員 教育施設課の6番、中学校校舎等管理事業について、要求額が結構大きかったと思うのですが、主なものとして清園中学校と明成中学校のトイレの改修と書いてありますが、これは単なる老朽化して暗くて汚いトイレを新しくするというものなのか、それともどれだけ市内の小・中学校に和式トイレがあるのかどうかかわからないのですが、和式トイレを洋式化するものなのか、詳しく教えていただきたいと思います。

○清水教育施設課長 主な増の要因としましては、清園中学校と明成中学校のトイレ改修工事として約1億500万円を今回要望しております。トイレの改修の内容としましては、こちらの両校につきまして和式のトイレで洋式化率が30%台で低いのですが、トイレを全部洋式化することとあわせて、トイレの床ですとか、手洗場も含めて改修したいということで1校当たり約5,000万円。トイレはそれぞれ校舎で各階に男女それぞれありますので、トイレの洋式化プラスそういう質の環境改善を含めて、両校で1億500万円程度、今要望しているところです。

○杉野委員 新しく建てた校舎は、洋式トイレだと思います。ただ、古い校舎については和式トイレがかなり残っているのでしょうか。

○清水教育施設課長 今ちょっと手元にないのでわかりませんが、最近の学校は洋式化

率100%です。古い学校については、やはり低いところで20%ぐらいの洋式化率、トイレ1カ所に1個ぐらいついているというようなところもあります。それで、今年度はその2校の設計費用を計上して、平成30年度に2校整備、どうしても古い学校に和式が多い。順次洋式化にしていきたいということで計画を。設計でいいますと、今年度、上幌向中学校のトイレの洋式化設計を要望しています。順次変えていこうと考えております。

○杉野委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

○武蔵委員 東小学校の次の設計はないのですか。

○清水教育施設課長 学校については今のところ今年度の要望はありません。

○三角教育長 ほかにございますか。

それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、こちらを教育委員会の予算要求の内容として予算確保のために取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、その他に移ります。

委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

特になければ、事務局から何かありませんか。

(「ありません」という声あり)

特になければ、来月の定例会の日程ですが、1月16日火曜日が第3火曜日となりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。時間は午後2時からということでよろしいでしょうか。場所につきましては、であえーる岩見沢4階の会議室1で行いたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして第12回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午後3時09分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員